

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公開番号】特開 2001-325904 (P2001-325904A)

【公開日】平成 13 年 11 月 22 日 (2001.11.22)

【出願番号】特願 2001-140585 (P2001-140585)

【国際特許分類】

H 0 1 J 31/12 (2006.01)

H 0 1 J 29/04 (2006.01)

H 0 1 J 29/32 (2006.01)

H 0 1 J 29/87 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 31/12 C

H 0 1 J 29/04

H 0 1 J 29/32

H 0 1 J 29/87

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 14 日 (2006.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子放出素子と第 1 の電極とが配置された第 1 の基板と、該第 1 の基板に対向する、前記第 1 の電極より高い電位に設定される第 2 の電極を有する第 2 の基板と、該第 1 の基板と第 2 の基板の間隔を保持するとともに、前記第 1 及び第 2 の電極と電気的に接続される支持部材と、該第 2 の電極に前記電子放出素子が放出した電子を加速する電圧を供給する加速電圧印加手段と、を有する電子放出装置において、

前記第 2 の電極は複数に分割され、分割された第 2 の電極はそれぞれ抵抗体を介して前記加速電圧印加手段に接続されており、

前記支持部材は導電性を有し、前記分割された第 2 の電極のうちの 1 つの電極に電気的に接続されることを特徴とする電子放出装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の電子放出装置において、

前記支持部材は、第 1 の導電性を有する第 1 の部材と、該第 1 の導電性よりも高い第 2 の導電性を有し、前記第 2 の電極と前記第 1 の部材とを電気的に接続する第 2 の部材とを備えていることを特徴とする電子放出装置。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の電子放出装置において、

前記支持部材は、前記分割された第 2 の電極の内の 2 つ以上の電極にまたがって配置され、

前記 2 つ以上の電極の内の一つと前記第 2 の部材は電気的に接続され、前記 2 つ以上の電極のうちの残りとは前記第 2 の部材は電気的に絶縁されていることを特徴とする電子放出装置。

【請求項 4】 電子放出素子と第 1 の電極とが配置された第 1 の基板と、該第 1 の基板に対向する、前記第 1 の電極より高い電位に設定される第 2 の電極を有する第 2 の基板と、該第 1 の基板と第 2 の基板の間隔を保持するとともに、前記第 1 及び第 2 の電極と電気的に接続される支持部材と、該第 2 の電極に前記電子放出素子が放出した電子を加速する電圧を供給する加速電圧印加手段と、を有する電子放出装置において、

前記第 2 の電極は複数に分割され、分割された第 2 の電極はそれぞれ抵抗体を介して前記加速電圧印加手段に接続されており、

前記支持部材は、前記分割された第 2 の電極の内の 2 つ以上の電極にまたがって配置され、

前記支持部材は、第 1 の導電性を有する第 1 の部材と、該第 1 の導電性よりも高い第 2 の導電性を有し、前記分割された第 2 の電極と前記第 1 の部材とを電氣的に接続する複数の第 2 の部材とを備え、

前記複数の第 2 の部材は、それぞれ離間して位置し、該それぞれの第 2 の部材は、前記 2 つ以上の電極のそれぞれと電氣的に接続していることを特徴とする電子放出装置。